

岡山県立倉敷古城池高校プラットフォーム

水島連携 2023～水島プラットフォームを母体とする倉敷古城池高校の活動紹介～

＜フードロス削減の取組＞

こども食堂での活動を通して、食品が余っている「フードロス」と食べ物がない「子どもの貧困」の問題に矛盾を感じるようになりました。そこで、まずは身近な「フードロス」問題に目を向けることにしました。「フードロス」削減を目指していくためには、地域から意識を変えて行く



必要があると思い、近隣の小学校でフードロスの出前講座を今までに5回行いました。また、子どもたちに、より深くフードロスについて考え実践してもらうために、公民館で料理教室を行いました。これらの活動を東京で開催され全国の高校生が集まる「高校生ボランティアアワード 2023」で発表し特別賞を受賞。副賞としてアメリカで発表する機会を得、1月にロサンゼルスで発表をしてきま

した。地域だけでなく世界に向けて発信できたことを嬉しく思います。



＜テラスミーティング TOKIWA '24＞

地域について学んでいく中で、水島の人口減少や水島商店街で若者離れにより、シャッターが降りている店が増加しているという現状を知りました。水島商店街では最盛期に 250 店舗あったのに比べ、現在では 50 店舗ほどに減少しています。そこで水島にまた人が集まり活気を取り戻してほしい、より多くの人が水島を訪れ水島を知ってほしいと思い、水島地域活性化や街づくりのために古城池高校生と同校 OB、水島在住の若者たちの連携のもとに 3 月 16 日に実施する「テラスミーティング TOKIWA '24 (昭和レトロ)」本番に向けて、7 月から月に一度集まり準備を進めてきました。世代間交流を目的に、大人にとっての懐かしさ、若者にとっての憧れを兼ね備えた昭和レトロを味わってもら



うため、今年のテーマを「昭和」にしました。飲食、音楽、写真、遊びの4つのコーナーに分かれて昭和レトロを体感してもらい、駄菓子、綿あめやラムネなどを販売したり、昔ながらの情景を背景に仮装をしてチェキで撮影やけん玉など昔遊びなどを体験してもらいました。また古城池高校茶道部によるお茶も味わってもらいました。



<真庭バイオマスツアー>

環境に優しいバイオマス発電を行っている真庭市で再生可能エネルギーについて学びました。ツアーでは発電に必要な木材を保管する集積場や実際に発電を行っている発電所を訪れ、その後真庭市役所で意見交換を行いました。発電には今まで利用されず、森林に放置されていた木材や地域の住民の方々が不要となった木材などを利用して発電が行われていました。発電所で発電された電力は、現在真庭市役所などの公共施設で使用されており、公共施設の電力はすべてバイオマス発電所で発電した電力を利用していることが分かりました。真庭市では、地域資源を利用した循環型地域社会を実現するとともに、地球温暖化などの環境問題の対策を行っていることを学びました。



<聞き書き>

「聞き書き」は、高校生が人生の先輩方に「生き方」を聞きに行くというものです。マタギなどの伝統的な生活を今の高校生に伝えて、後世に残す役割もあります。毎年違ったテーマを設定し、今年のテーマは「幸せ」でした。聞き書きには、訪ねて、聞いて、起こして、製本するという作業工程があり、特に大変なのが書き起こしという作業です。聞かせてもらった話を録音して、その録音を聞きながら一言一句違わずにパソコンで文字起こすのが一番時間がかかって一番根気がいりました。薬



局で薬剤師をされている木曾さん、大地

の再生をされている杉本さん、コーヒー店を経営されている岡部さんにお話を伺いました。聞き書きに参加して、普段は話をする機会のないような方たちや他人に質問したり話したりするのでめっちゃくちゃ緊張しました。しかし時間が経つにつれて笑顔が見られるようになったり話が弾んだりして、とても楽しかったです。また、自分の人生について考えるよい機会になりました。



<水島・藤戸ツアー>

水島の魅力や藤戸で起きた源平合戦を知ってもらい水島に興味を持ってもらうためにバス&クルーズツアーを行いました。バスツアーでは、バスで水島を回って自分たちでコンビナートの歴史などを解説したり、街歩きをして高校生目線のおすすめのお店やイベントを紹介したりしました。実際に合戦が行われた藤戸寺や西明院を訪れるというとてもいい経験もできました。また、倉敷科学センターで源平合戦中に起こった金環日食をプラネタリウムで再現していただきました。クルーズツアーでは海から水島コンビナートを見ながら詳しく解説する予定でしたが、強風のため船が欠航となったため、旧鷺羽山スカイラインからコンビナートを見て、行う予定だったガイドをしました。そして、その活動を12月に岡山県探究フォーラムで発表しました。探究フォーラムと



探究フォーラムと

いう校外での発表やその原稿作成をて新しい課題なども見付き、とてもいい経験になりました。

<福田公民館との連携>

福田公民館と連携をとって絵画、書道などの講座を開催しました。保護者の送迎無しで経済的負担もほとんどなく気軽に参加してもらうことを目標に、企画から打合せ、準備、当日の実施まで美術部や書道部の生徒が主体となって行いま



した。美術部はうちわを作りました。書道部は、高校生が一对一での指導を行うため、まず小学生とミニゲームや絵しりとりを



しました。初対面だったので少しでも子どもたちにリラ

的にコミュニケーションを取ること子どもたちと作品の鑑賞をする時間により上手に書けた！」と言ってくれ改めて大きな達成感を得ることができ、みんな集まってくださり、みんなできました。



ックスしてもらえよう積極的に心がけました。小学生の子は、多くの子どもたちが「最初だったので、その笑顔を見たとききました。当日は地域の方々なで地域交流を深めることが

